

# 華

おかげさまで80周年

編集 慶徳会 広報室  
〒567-0035 茨木市見付山1丁目3-29  
電話 072-665-5165  
FAX 072-665-5166

## 第27号

平成23年3月発行

新春の恒例行事である「新年互礼会・新春ゲーム大会」を1月7日に常観堂で開催しました。新年互礼会終了後、第一部の「百人一首」が始まり小学校高学年以上の子どもたちとご老人が各テーブルに均等に分かれ、熱戦が繰り広げられました。初めはご老人と子どもたちの明るい会話も聞こえていましたが、次第に白熱してきてご老人が札を取れば、負けじと子どもたちも応戦。ハンディキャップなしの真剣勝負に、毎年驚きと感動が生まれます。また、小学校低学年、幼児さんたちは「カルタ取り」を楽しみ、こちらも明るく元気な声を響かせながらの熱戦でした。

## 新年互礼会・新春ゲーム大会



幼児さんもカルタとり



老若男女問わずの真剣勝負

第二部の「〇×クイズ」では、出題される引っかけ問題に頭を悩ませながら、子どもからご老人まで会場全員が一喜一憂しながら賑やかなひとときを終始楽しい時間を過ごしました。世代間交流のできる場があるという、法人の素晴らしさを改めて実感し、参加される皆さんの笑顔を見ることができました。



老若男女問わずの真剣勝負

## ふじだな

雨には情がある。旧暦二十四節季の立春が過ぎると、雨水（2月18日）今年は少し早い。2月14日は雪まじり雨が降った。冬の畑の乾きが潤い、畦道の草が萌え出し、日だまりのイヌノフグリが青い花を咲かせている。次は啓蟄（土の中で寒さに耐えていた虫が地上に出て動き出す）春分、清明、4月20日は穀雨（夏の草木が芽を出し、稲の種播きが始まる）、春の雨はしつとりと万物を潤し、冬の寒い間、眠っていたあらゆるものに新しい「いのち」を吹き込んでくれる。雨の後、湿った土の香り、若葉や花の色は人の心を動かす。この春の息吹は、自然を友とし、愛護する気持ちがあれば、いつでもどこでも感じ取ることが出来る。春雨、春時雨、五月雨、梅雨、夕立、喜雨、夏の雨、秋時雨、秋の雨、初時雨、時雨、冬の雨、水雨、霧、風雨、豪雨、雷雨、慈雨等それぞれの顔がある。

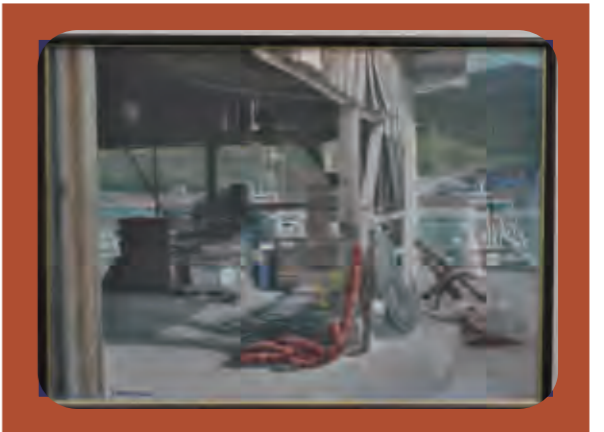
蕪村

## 寄付・寄贈

昨年8月、小規模多機能センター「なでしこ」の竣工に併せて2階に法人研修室を設置し、部屋のインテリアの検討をしていたところ、年明け早々に八十号の大作絵画のご寄贈を受けました。

作品は、元造形美術協会会員、故西崎哲郎氏の茨木市美術展の入選作品「島根の漁港」です。西崎氏は尾道市ご出身

## 大作絵画のご寄贈



で、お勤めをご退職後、絵画を始め、終生「船」をテーマに描き続けられ、大阪府教育委員会賞など数々の受賞をされています。この作品で研修室の雰囲気が一気にグレードアップしています。静華苑でお世話になっている「さくらボランティア」ご代表の明神壽美氏のお引き合わせで作者のご令室典子氏から頂戴致しました。

## 「ダーナ献金」

### を受けました

1月20日に大阪教区仏教婦人会連盟（菅生美智子会長）様から「ダーナ献金」として多額のご寄付を頂戴致しました。当日は菅生会長様はじめ6名の皆様にお越しいただき、見付山の各施設をご見学下さいました。

この献金は浄土真宗本願寺派西本願寺の信徒の皆様による社会貢献のためのご厚志を毎年、慶徳会の施設を対象として頂戴しているものです。ご趣旨に沿って大切に活用させていただきます。有難うございました。

合掌

## 子供の家・養育センターです！

子供の家・養育センターは、障害をお持ちの小さな子どもさんから大人の方までご利用頂ける、日中一時支援事業と短期入所事業のサービスを行っています。

最近、就学前の幼児さんや小学生の方が増えて、室内はとても賑やかです。ブロックで遊ぶ子、絵本を見ている子、DVDを観ながら体を揺らしている方など皆さんとても楽しそうに過ごして頂いています。中でもおやつ時間は、大人のご利用者も楽しみにして下さっているようで、皆で色んな話しをしながらの賑やかな時間となっています。



今日のおやつは何でしょう！

今後もご利用者お一人おひとりのニーズに沿ったサービスに努めてまいります。

平日の10時～14時はまだ空きがありますのでご利用お待ちしております。





# 永年20年勤続 おめでとうございます

舟木康二 施設長  
 川端郁子 主任  
 名古路茂子 介護職員  
 矢次キ又子 調理員  
 田上志津枝 調理員  
 (敬称省略)

1月28日に、慶徳会苦情解決第三者委員会を開催しました。第三者委員の高木幸男氏と水尾雅子氏に平成22年1年間における法人内各施設でのご利用者からの苦情の内容及びその対応と結果について報告し、委員からのご意見とご指導を受けました。苦情は年間56件で、その大半は最終的にご利用者やご家族のご了承を得ているものの、同じミスを繰り返したり、連絡報告が不十分であったり、また、説明の仕方に気配りが足りなかったりなど、反省すべき点が多々あり、両委員から改善に向けて色々のご指導をいただきました。法人としてさらに気を引き締めて仕事に取り組んでいく所存です。

## 慶徳会 苦情解決 第三者委員会

# 第10回 慶徳会 秋華祭・文化発表会



10回を記念し当時を振り返る

このたびで10回目を迎えましたが、この間新しく仲間入りした事業所のご利用者を含め、参加者は飛躍的に広がり、子ども達からご老人まで一堂に会して熱演を披露し、あるいは、日頃の腕前を発表する法人屈

を盛大に開催  
 平成22年11月19日(金)に、法人恒例の秋華祭・文化発表会を茨木市生涯学習センター「きらめきホール」で開催しました。この行事は当初、光華・春菊苑での音楽療法がきっかけとなり、作曲家の山上卓也先生の卓越したご指導や多才で熱心なご利用者のお陰で、活動の輪が広がり、平成10年に法人内施設合同の音楽発表会が実現しました。この発表会が基盤となつて、平成12年には、ご利用者の趣味の作品展示を含め、法人全体の連帯感と親睦を深めることを願い「秋華祭・文化サークル発表交流会(現文化発表会)」として改めてスタートを切りまし



舞台発表で十八番を熱唱!!

指のイベントに成長しました。また、今では法人関係者だけでなく、ご家族をはじめ、行政や地域の方々にも多数ご鑑賞を頂き、大変、ご好評を賜っております。

今回は、10回記念として、当初から参加されている光華苑の澤田田鶴さん(97歳)を囲んで、山上先生と発足当時の光華苑苑長大西一夫前常務理事によるトークの時間をお願いしました。皆さんに当時のエピソードをお話頂き、往時を懐かしむことが出来ました。この秋華祭に向けて、毎年各施設で、ご利用者さんと職員が一緒に歌、体操、寸劇や展示作品などに取り組んでいます。その成果が当口、笑顔になり、みなさまの生き甲斐や明日への活力として勇気づけることが出来ればと願っております。

## 法人人権研修 『高齢者の人権とは』 平成23年2月24日

特別養護老人ホーム「けやきホール」元施設長 島田孝久氏

平成22年度後期法人人権研修は、講師に最近まで兵庫県豊岡市の特別養護老人ホーム「けやきホール」の施設長を勤められていた島田孝久さんをお迎えし、2月24日に本部・研修室において開催しました。ご自身の多彩なご経歴と様々なご体験をもとにも興味深いお話をさせて頂き、一同深く感銘を受けました。この日のお話をこれからの仕事に生かしていきたいと思ひます。

島田さんのお話の概要は次のとおりです。大学在学中から、施設を自分の手で作りたいと周囲に公言し、そのための「武者修行」として、イギリスの様々な施設に「働かせて欲しい!」と日本から手紙を出したところ、その中で一力所だけですが、返事があつたので、すぐに渡英しました。しかし、見知らぬ土地、言葉や文化の壁、そして初めて重度障がい者施設で働くという事で、とても苦労がありました。その上、日本人ということだけで馬鹿にされ、悔しい思いをしたことなど、随分と孤独感も味わいました。それでも自分の中で一本の筋の通った信念をもって人が敬遠する業務を進んでするなど、がむしゃらに、頑張った結果、そのうち仕事の実績も上がり、周囲からも認めてもらえるようになりまし。

また、働きながらマンチェスター大学院を卒業するなどの経験を積んだところで、帰国し、かねてからの念願であった特別養護老人ホームを兵庫県但東町(現豊岡市)で開設して運営に携わってきました。この間、民間企業やいくつかの特養の事務長なども歴任するとともに、地元

## 特別養護老人ホーム常清の里

### 嚥下障害食の取り組み

常清の里では、平成19年の秋から「ミキサー食のご利用者にももっとおいしく召し上がっていただこう!!」という職員の気持ちから、見た目を工夫した「嚥下障害食」をとり入れております。

嚥下障害食とは、誤嚥を防ぐために特殊なゲル化剤などを使用し、ペースト状の食事をかため嚥下しやすい形態にした食事のことです。この食事による効果は

- ・見た目の向上
  - ・残食量の減少
  - ・誤嚥リスクの軽減
- そして、一番大きな変化はいつもミキサー食でお皿を口にして流し込んでいた方々が、スプーンですくって召し上がるようになったことです。

この取り組みは厨房スタッフだけでなく介護職員や看護師との連携協力があつてこそ実現できたものと思ひますので、今後も力を合わせ、ご利用者の食事面からのケアに努めていきたいと思ひます。

### 通常食と見まがう嚥下障害食のお膳



- ~メニュー~
- ごはん
  - 赤魚味噌
  - マヨネーズ焼き
  - 酢の物
  - お吸い物